



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場会社名 株式会社カネカ 上場取引所 東証一部・大証一部・名証一部
 コード番号 4118 URL http://www.kaneka.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)菅原 公一
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経理部長 (氏名)石原 忍 TEL(06)6226-5169
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	118,977	5.4	3,637	△42.5	3,490	△51.3	2,212	△51.7
23年3月期第1四半期	112,832	13.7	6,322	48.4	7,169	66.2	4,581	72.7

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,406百万円(一%) 23年3月期第1四半期 △195百万円(一%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6 53	6 52
23年3月期第1四半期	13 51	13 50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	458,919	260,455	54.6
23年3月期	455,140	261,828	55.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 250,683百万円 23年3月期 252,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8 00	—	8 00	16 00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		8 00	—	8 00	16 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	230,000	2.5	9,000	△13.9	8,500	△21.3	4,500	△28.4	13 28
通期	500,000	10.2	25,000	17.7	23,500	12.0	13,000	11.8	38 36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	350,000,000株	23年3月期	350,000,000株
24年3月期1Q	11,074,122株	23年3月期	11,082,130株
24年3月期1Q	338,929,053株	23年3月期1Q	339,225,538株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。
- ・当社は、以下のとおりアナリスト向け説明会を電話にて開催する予定です。
 - ・平成23年7月28日（木）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け四半期決算説明会

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 11
(5) セグメント情報等	P. 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)の業績は、売上高は118,977百万円(前年同四半期連結累計期間(以下、前年同四半期)比5.4%増)と前年同四半期を上回りましたが、営業利益は3,637百万円(前年同四半期比42.5%減)、経常利益は3,490百万円(前年同四半期比51.3%減)、四半期純利益は2,212百万円(前年同四半期比51.7%減)と減益となりました。

セグメント別では、前年同四半期と比較して、売上高は東日本大震災による需要減少の影響を強く受けた発泡樹脂製品事業、ライフサイエンス事業が減収となりましたが、化成品事業、機能性樹脂事業、食品事業、エレクトロニクス事業、合成繊維、その他事業は増収となりました。営業利益は、化成品事業、機能性樹脂事業、合成繊維、その他事業は増益となりましたが、発泡樹脂製品事業、食品事業、ライフサイエンス事業、エレクトロニクス事業は減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①化成品事業

塩化ビニール樹脂は、国内市場での販売数量の拡大に加え、原燃料価格の上昇に伴う販売価格の修正に注力し、増収増益となりました。塩ビ系特殊樹脂は、アジア市場向け販売数量が減少しましたが、国内市場の販売数量が増加し、コストダウン等も寄与して減収ながら増益となりました。か性ソーダは、出荷数量が前年同四半期より減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は22,727百万円と前年同四半期と比べ934百万円(4.3%増)の増収となり、営業利益は1,020百万円と前年同四半期と比べ490百万円(92.4%増)の増益となりました。

②機能性樹脂事業

モディファイヤーは、欧米市場の需要が堅調に推移するとともに国内及びアジア市場の需要が活発化し、製品差別化力の向上及びコストダウン等の収益体質強化にも徹底して取り組みましたが、原燃料価格の上昇及び円高の影響を強く受け、増収減益となりました。変成シリコーンポリマーは、欧米及び日本の建築関連需要が低調に推移しましたが、各市場において販売数量の拡大を実現し、原燃料価格の上昇及び円高の影響をカバーして増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は20,032百万円と前年同四半期と比べ2,508百万円(14.3%増)の増収となり、営業利益は2,088百万円と前年同四半期と比べ39百万円(1.9%増)の増益となりました。

③発泡樹脂製品事業

発泡スチレン樹脂・成型品は、震災による東北・関東地域の水産分野の需要低迷の影響を強く受けました。押出発泡ポリスチレンボードは、国内住宅用途向けの販売数量が増加した一方、原燃料価格上昇に対応した製造コストダウンと経費削減に徹底して取り組みました。ビーズ法発泡ポリオレフィン、自動車分野のサプライチェーン停滞等に伴う需要減少の影響を受け、日本・アジア・欧州市場ともに需要が低迷しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は13,873百万円と前年同四半期と比べ12百万円(0.1%減)の減収となり、営業利益は670百万円と前年同四半期と比べ499百万円(42.7%減)の減益となりました。

④食品事業

食品は、消費者の節約・低価格志向を背景に需要が伸び悩む中で、新製品拡販などにより販売数量が増加するとともにコストダウンに努めましたが、油脂等原料価格の上昇の影響を強く受けました。

以上の結果、当セグメントの売上高は33,070百万円と前年同四半期と比べ2,491百万円(8.1%増)の増収となり、営業利益は1,623百万円と前年同四半期と比べ666百万円(29.1%減)の減益となりました。

⑤ライフサイエンス事業

医療機器は、インターベンション事業の販売が順調に拡大しました。医薬バルク・中間体は、海外向け販売数量が前年同四半期を下回りました。機能性食品素材は、米国市場を中心に高機能品の販売数量が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は11,532百万円と前年同四半期と比べ464百万円(3.9%減)の減収となり、営業利益は1,685百万円と前年同四半期と比べ950百万円(36.1%減)の減益となりました。

⑥エレクトロニクス事業

液晶関連製品は、新規用途の拡大などにより販売数量が増加したものの、超耐熱性ポリイミドフィルムは、震災の影響等によるエレクトロニクス製品市場の需要停滞から販売数量が前年同四半期を下回りました。太陽電池は、競争の激化に伴う販売価格下落の影響を受けるとともに欧州・アジア市場向けの販売数量が減少しましたが、国内市場向けの販売数量は着実に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は9,939百万円と前年同四半期と比べ30百万円(0.3%増)の増収となり、営業損失は1,421百万円となりました。

⑦合成繊維、その他事業

合成繊維は、円高及び原燃料価格の上昇の影響を強く受けましたが、海外市場の需要が堅調に推移し、販売数量が前年同四半期を上回るとともに、販売価格の修正やコストダウンによる収益確保に努めた結果、増収増益となりました。また、その他事業についても、収益を確保しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は7,803百万円と前年同四半期と比べ656百万円(9.2%増)の増収となり、営業利益は399百万円と前年同四半期と比べ60百万円(17.9%増)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,778百万円増の458,919百万円、有利子負債残高は884百万円増の67,479百万円となりました。また、純資産は、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少等により1,373百万円減の260,455百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等により5,230百万円となりました。投資活動による資金の支出は、有形固定資産の取得による支出等により5,458百万円、財務活動による資金の支出は、配当金支払等により1,788百万円となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は、35,428百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の事業環境は、東日本大震災によるサプライチェーンの停滞や原発問題、電力供給不安の影響などから日本の経済活動が低迷した一方、欧米の景気は緩やかな改善を辿り、中国はじめアジア市場でも景気の拡大基調が続きました。今後の経済情勢は、日本国内の震災復興需要が本格化してくると予想される一方、欧州の金融不安や米国・アジアの景気減速の懸念は拭えず、為替や資源価格等の動向も合わせ、先行きは非常に不透明となっております。

このような状況をふまえて、当社グループは、東日本大震災による事業的影響を極小化するべく注力を続けるとともに、各事業において、販売数量増大のための施策及び製造コストや経費の削減等の収益確保策に徹底して取り組んでまいります。

なお、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

※上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,685	35,634
受取手形及び売掛金	103,891	105,105
有価証券	322	322
商品及び製品	38,023	42,915
仕掛品	8,017	8,297
原材料及び貯蔵品	22,112	21,827
その他	12,772	14,507
貸倒引当金	△400	△336
流動資産合計	222,425	228,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,856	53,271
機械装置及び運搬具（純額）	64,264	62,303
その他（純額）	44,945	46,600
有形固定資産合計	163,065	162,175
無形固定資産		
のれん	4,436	4,331
その他	2,763	2,761
無形固定資産合計	7,199	7,093
投資その他の資産		
投資有価証券	46,438	45,051
その他	16,581	16,888
貸倒引当金	△568	△564
投資その他の資産合計	62,450	61,375
固定資産合計	232,715	230,644
資産合計	455,140	458,919

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,771	62,582
短期借入金	21,176	21,991
未払法人税等	4,145	2,197
引当金	1,104	909
その他	39,369	44,430
流動負債合計	126,566	132,111
固定負債		
社債	15,143	15,060
長期借入金	26,095	26,254
退職給付引当金	19,228	19,032
引当金	320	315
負ののれん	639	587
その他	5,318	5,103
固定負債合計	66,745	66,353
負債合計	193,311	198,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	34,836	34,836
利益剰余金	197,462	196,962
自己株式	△9,760	△9,755
株主資本合計	255,585	255,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,677	6,005
為替換算調整勘定	△10,148	△10,413
その他の包括利益累計額合計	△3,471	△4,407
新株予約権	127	127
少数株主持分	9,587	9,644
純資産合計	261,828	260,455
負債純資産合計	455,140	458,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	112,832	118,977
売上原価	84,094	90,802
売上総利益	28,737	28,174
販売費及び一般管理費	22,415	24,537
営業利益	6,322	3,637
営業外収益		
受取配当金	421	498
為替差益	—	2
持分法による投資利益	883	87
その他	527	234
営業外収益合計	1,833	823
営業外費用		
支払利息	212	239
固定資産除却損	294	242
為替差損	193	—
その他	285	487
営業外費用合計	986	969
経常利益	7,169	3,490
特別損失		
投資有価証券評価損	515	—
特別損失合計	515	—
税金等調整前四半期純利益	6,654	3,490
法人税、住民税及び事業税	2,784	1,464
法人税等調整額	△984	△331
法人税等合計	1,800	1,132
少数株主損益調整前四半期純利益	4,853	2,357
少数株主利益	271	145
四半期純利益	4,581	2,212

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,853	2,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,483	△674
為替換算調整勘定	△2,552	△275
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△1
その他の包括利益合計	△5,049	△951
四半期包括利益	△195	1,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△280	1,275
少数株主に係る四半期包括利益	84	130

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,654	3,490
減価償却費	6,315	6,859
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△526	△190
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△194	△66
受取利息及び受取配当金	△446	△526
支払利息	212	239
持分法による投資損益(△は益)	△883	△87
固定資産処分損益(△は益)	211	382
投資有価証券評価損益(△は益)	515	—
売上債権の増減額(△は増加)	△982	△1,400
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,606	△5,007
仕入債務の増減額(△は減少)	△552	1,899
その他	3,851	3,356
小計	15,779	8,949
利息及び配当金の受取額	472	554
利息の支払額	△118	△132
法人税等の支払額	△3,181	△4,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,952	5,230
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,558	△5,849
無形固定資産の取得による支出	△133	△169
投資有価証券の取得による支出	△855	△11
投資有価証券の売却による収入	—	410
関係会社株式の取得による支出	△457	△328
関係会社株式の売却による収入	—	98
貸付けによる支出	△112	△27
貸付金の回収による収入	28	193
その他	△46	225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,134	△5,458

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△248	871
長期借入れによる収入	—	771
長期借入金の返済による支出	△189	△469
社債の償還による支出	—	△89
リース債務の返済による支出	△111	△116
配当金の支払額	△2,714	△2,711
少数株主への配当金の支払額	△27	△41
自己株式の取得による支出	△10	△4
自己株式の売却による収入	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,300	△1,788
現金及び現金同等物に係る換算差額	△474	467
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,042	△1,549
現金及び現金同等物の期首残高	40,513	36,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,555	35,428

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								調整額	合計
	化成品	機能性樹脂	発泡樹脂製品	食品	ライフサイエンス	エレクトロニクス	合成繊維、その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	21,792	17,524	13,885	30,578	11,996	9,908	7,147	112,832	—	112,832
セグメント間の 内部売上高又は振替高	726	112	33	0	88	141	350	1,453	△1,453	—
計	22,519	17,636	13,919	30,578	12,084	10,049	7,497	114,285	△1,453	112,832
セグメント利益 又は損失(△)	530	2,048	1,169	2,289	2,635	△861	339	8,150	△1,828	6,322

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,150
セグメント間取引消去	△17
全社費用(注)	△1,756
その他の調整額	△53
四半期連結損益計算書の営業利益	6,322

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

II 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額	合計
	化成品	機能性樹脂	発泡樹脂製品	食品	ライフサイエンス	エレクトロニクス	合成繊維、その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	22,727	20,032	13,873	33,070	11,532	9,939	7,803	118,977	—	118,977
セグメント間の 内部売上高又は振替高	633	160	56	0	8	362	387	1,609	△1,609	—
計	23,360	20,193	13,929	33,070	11,540	10,301	8,190	120,587	△1,609	118,977
セグメント利益 又は損失(△)	1,020	2,088	670	1,623	1,685	△1,421	399	6,065	△2,428	3,637

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,065
セグメント間取引消去	△2
全社費用(注)	△2,421
その他の調整額	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	3,637

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。